



やさしさと活気の調和したまちに

だれもが安心して暮らせるまち
この住み慣れたまちで生き生きと
暮らしていくために
一人一人の温かい心で
おうらの幸せの姿を
一緒に描いていきましょう



写真 町の記録ボランティア高根澤高明



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成23年の新春を健やかに迎えたいと心からお喜び申し上げます。また、日ごろから、本町のまちづくりへの温かいご支援、ご協力に深く感謝を申し上げます。

平成22年を顧みますと、年度当初に計画した事業を着実に進めてきました。しかし、長引く経済情勢の低迷を考慮し、次のことに重点を置き行政運営を行ってまいりました。①経常経費などのさらなる削減や投資的経費の重点化を行い、効率的な財政運営へのより一層の転換を図る、②町税などの自主財源の減額を補うため、国や県などのさまざまな補助制度の活用を行い、依存財源の確保に努める、③町民の福祉を守り、町民サービスの向上に努める。

その結果、投資的経費では、老

朽化した学校給食センターの建設も本年2学期からの配食を目指し工事を進めてきました。道路整備については、町道幹線3号線(県道足利呂梁行田線から西へ県道足利赤岩線間)、6号線(邑楽中学校東から国道354号間)の大黒橋架け替え工事の整備も進めることができました。ソフト面では、各種福祉事業、予防活動を主とした保健事業の推進、教育相談事業などの福祉・教育関係事業の充実を図ってまいりました。

まちづくりの基本は、町民の皆様の声を大切に、共に築いていくことだと思えます。本年もまちづくりに向けた座談会を行い、多くの皆様からの幅広いご意見をお聞かせいただき行政運営に反映したいと思えます。そして、子どもからお年寄りまで安心して安全に暮らせる町、一人にやさしい邑楽町の実現に向け、職員一丸となって町政運営に努めてまいります。

結びに迎えた本年が町民の皆様にとって素晴らしい年になりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

邑楽町長 金子正一

学校給食センター建設事業

給食センターは、老朽化などの問題もあり、平成21年から建設に向けて設計や地質調査などを進めてきました。平成22年9月に建築本体工事、電気設備工事、機械設備工事に分割して着工となり、今年6月末に完成予定。配食は、2学期からとなります。

建物は、鉄骨造2階建てで延べ床面積1997.83㎡。今までの建物の2倍以上になります。学校給食衛生管理基準に基づいた、徹底した衛生管理ができる最新の施設。工事金額は、外構工事や食器類の更新を含め、約10億円を予定。使える備品は使用し節約に努めながら、より安全で安心な給食を提供していきたいと考えています。

幼稚園、小・中学校エアコン整備

近年の温暖化や異常気象などにより、夏の気温が30度を超える日が大変多くなりました。日によっては40度近くまで上昇し、学校の授業にも支障をきたしています。町にも数年前からエアコンの設置要望が寄せられていたことが、予算などの関係があり扇風機を設置し対応してきました。

しかし昨年の酷暑を受けて、また園児・児童・生徒の健康を考え、エアコンの整備を進めたいと思います。普通教室と一部に特別教室約170室にエアコンを入れると、約2億7,000万円が必要となります。子どもたちが、勉強に集中できるように整備を進めていきたいと考えています。

石打町営住宅建替実施設計

町内にある5つの町営住宅は、昭和39、53年度に建築しました。今後、周辺の土地利用状況の変化などにより、2つの団地を廃止し、残りの3つの団地に統合する予定です。その3つの団地の中で、一番老朽化が進んでいる石打町営住宅の建て替え計画。

石打町営住宅の1戸建の木造平家建は、昭和41、43年度に建築しました。平成23年度に約3,900万円の建替基本実施設計などを行い、約9,000万円で既存の町営住宅の取り壊し工事などを行う予定です。新たに建築する住宅は2棟で34戸。平成24年度・25年度に1棟ずつ建築していきたいと考えています。

町道16-13号線事業

鞍掛第一工業団地や鞍掛第三工業団地の企業進出などにより、国道354号ハイパス赤堀交差点から新堀橋までの区間(主に県道古戸館林線と県道矢島大泉線の区間)が、慢性的な交通渋滞にあります。地域のかたがたには、大変不便をおかけしています。

町道16-13号線の道路整備事業は、鞍掛第三工業団地と国道354号ハイパスを直接結ぶ道路として計画されています。事業年度は平成23、26年度を予定。この整備事業により、県道の交通渋滞の緩和と歩道整備による歩行者の安全性の確保。さらに、工業団地進出企業の利便性の向上も図ってまいりたいと考えています。

平成23年度の主な取り組み

